

中部横断自動車道（静岡・山梨間）の全線 開通を契機とした地域活性化の取り組み

～^{きょうなん}峡南地域 道の駅ネットワーク～

山梨県 県土整備部 高速道路推進課

1. はじめに

山梨県は、県土の中央に甲府盆地が広がり周囲を急峻な山々に囲まれている地勢であり、盆地を中心に東西南北に位置する地域を峡東（きょうとう）、峡西（きょうさい）、峡南（きょうなん）、峡北（きょうほく）と呼称している。峡南地域は、市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町の5町から構成されており、その中心を南北に流れる一級河川富士川は、日本三大急流の一つとして知られ、江戸時代から昭和の初めには「富士川舟運」として甲州から駿河まで通じる交通の大動脈として利用されてきた。昭和以降になると、鉄道（JR 身延線）や国道 52 号が交通の主軸を担い、国道 52 号と並走する中部横断自動車道（静岡・山梨間）は、平成 5 年から整備が進められ令和 3 年夏には全線開通が予定されており、新東名高速道路と中央自動車道をつなぐ高速道路ネットワークが形成されることになる。峡南地域には7つのインターチェンジがあり、富沢 IC～六郷 IC 間の約 28km は、国土交通省による新直轄方式により整備されていることから通行料金が無料であり、沿線には5つの道の駅が点在しているなど、来訪者が立ち寄りやすい優位性を持ち、開通により新たな観光ルートを構築していくことは、沿線地域の活性化につながる絶好の機会と捉え、来訪者を呼び込むための取り組みを展開していく必要がある。

ここでは、県と沿線5町が中心となって関係機関と連携し、峡南地域の観光振興や地場産業等の活性化に向けた取り組みについて紹介する。

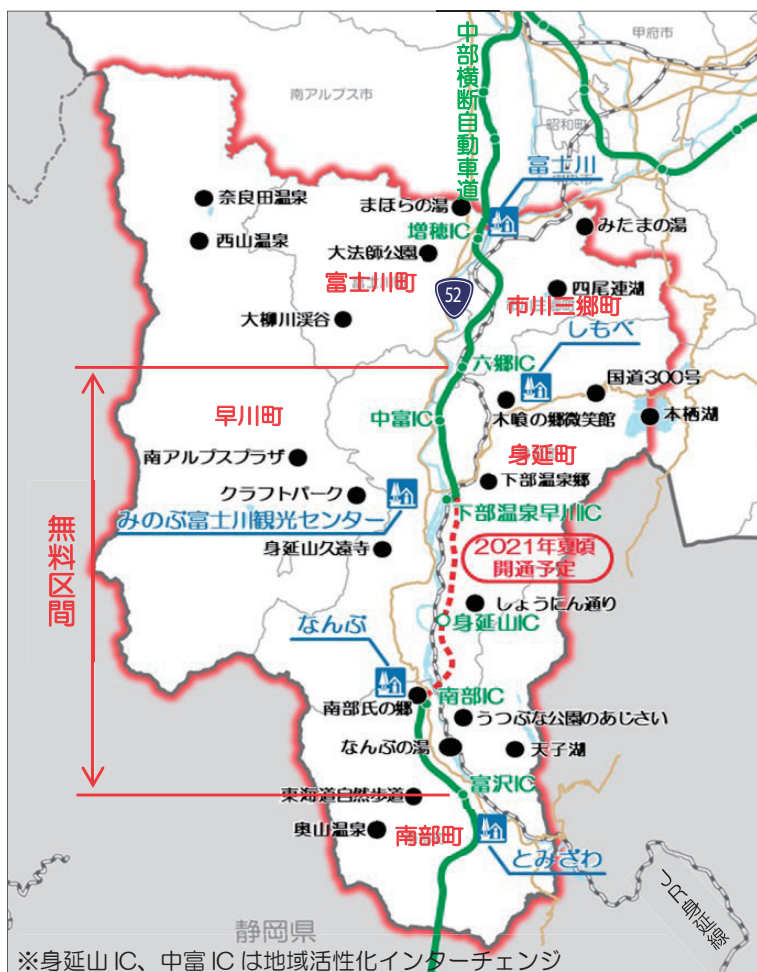


図1 峡南地域の位置図

(出典：甲府河川国道事務所HP)

2. 沿線地域活性化の取り組み

(1) 峡南地域道の駅ネットワーク協議会の設立

令和2年8月に、「県内外の観光客を峡南地域に呼び込み、開通を更なる地域活性化につなげる契機とすること」、「地域の魅力向上や周辺地域への経済波及効果の最大化を図ること」を目的とし、県が事務局となり国土交通省や沿線5町、道の駅5駅と共に「峡南地域道の駅ネットワーク協議会（以下、「協議会」）」を設立した。

協議会のメンバーは、県の観光文化部や、各自治体からも建設部局と観光及び産業振興部局を構成員に加え、ハードとソフトの両面から議論が展開できる体制とした。



写真1 協議会設立時の知事と5町長によるキックオフセレモニーの様子



図2 協議会のシンボルマーク

表1 協議会構成員

所 属	役 職	事務局
国土交通省関東地方整備局 甲府河川国道事務所	所長	
山梨県	観光文化部長、県土整備部長	○
市川三郷町	商工観光課長、土木整備課長	
早川町	振興課長	
身延町	観光課長、産業課長、建設課長	
南部町	産業振興課長、建設課長	
富士川町	産業振興課長、都市整備課長	
道の駅とみざわ	駅長	
道の駅しもべ	駅長	
道の駅みのぶ富士川観光センター	駅長	
道の駅富士川	駅長	
道の駅なんぶ	駅長	

個々の道の駅単独では難しい取り組み・活動を、町や道の駅などの関係者間で連携（ネットワーク化）して行うことで相乗効果を生むことがネットワーク化の主旨であり、5駅それぞれの特色ある機能を活かしながら相互に機能を補完するなど、5駅全体として「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域連携機能」の3つの機能を拡大・拡充、また道の駅だけではなく峡南地域全体への効果の波及を目指す。

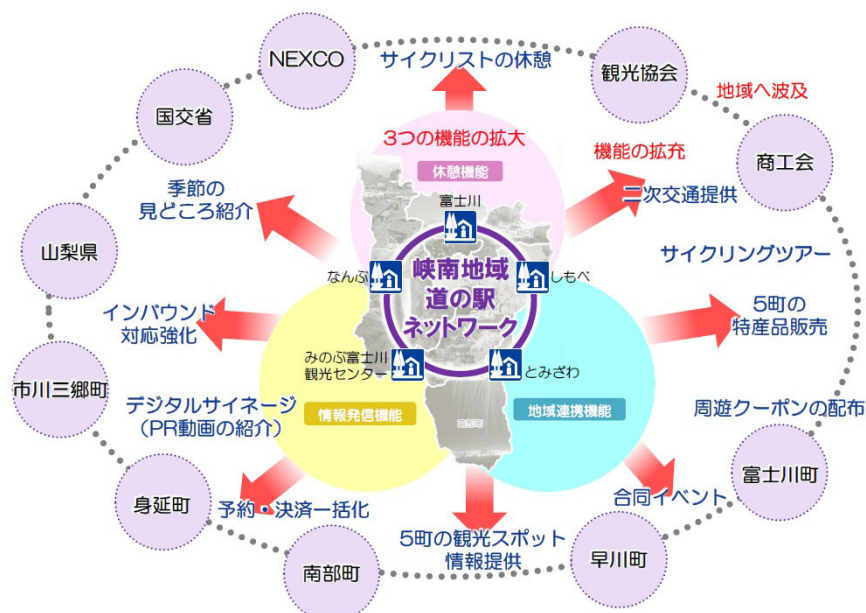


図3 道の駅ネットワークの概念図

(2) 第1回協議会の開催

第1回協議会では、道の駅を起点に5つの道の駅が連携して観光情報を一元的に発信することで情報発信力の強化を図る「情報のネットワーク化」及び、道の駅を拠点としたサイクルツーリズムの展開や、公共交通機関などと連携して二次交通の強化などの周遊促進を図る「交通のネットワーク化」の大きく2つの方向性で進めていくことを確認した。

会議では、「誘客活動を積極的に展開するべき」、「観光客の行動データや消費動向を把握したい」、「サイクル事業に力を入れたい」といった前向きな意見が挙げられる一方で、「魅力発信の体制が整っていない」、「観光資源を磨き上げていく必要がある」といった課題も上げられた。



写真2 第1回協議会の開催の様子

(3) ワーキンググループの開催

第2回協議会に向け、各構成員が理解を深め熟度と機運を高めることを目的に、自治体ごとにワーキンググループを並行して進めることにした。ワーキングでは、「何の情報を発信するか」、「どんなイベントを実施するか」、「発信力のある人物は誰か」、「どんな媒体で発信するか」などの観点から、各自治体の観光資源やPRポイント、現在行っている観光促進のための取り組みや現状など、情報共有や意見交換を行った。



写真3 ワーキンググループ開催の様子

(4) 峡南地域共通のテーマ設定

ワーキンググループにおいて、他の観光地と共通しない地域特有の資源をブラッシュアップすることで差別化を図っていくことや、来訪者の年齢層に着目するなどターゲットの絞り込みが必要という意見が挙げられた。地域共通のテーマにターゲットを設定することは、「個」に点在している特色のある資源を「面」でつなぐことが可能でありこれらを一つの観光として情報発信する手段は有効と考えられる。

県内には八ヶ岳高原や富士山・富士五湖周辺といったリゾート型観光スポットを有していることから、峡南地域ではこれらの地域と趣向を変え、例えば日本古来の「ものづくり」を観る・触れる体験型施設をコースで巡るなど、ターゲットごとに一度の来訪でたくさんの満足度を味わうことが可能な趣のあるテーマ設定の検討が進められている。候補となるテーマごとに峡南地域の資源の一部を紹介する。

- 「歴史・文化」・・・身延山久遠寺（日蓮宗総本山）、七面山、赤沢宿、歌舞伎、市川手漉き和紙、西島和紙、雨畑硯、印章（はんこ）など
- 「アウトドア」・・・本栖湖、四尾連湖、みたまの湯、アニメゆるキャン△の聖地
南アルプス登山・トレッキング、オートキャンプ場など
- 「自然・癒やし」・・・大柳川溪谷、妙蓮の滝、日本最古の温泉旅館西山温泉、信玄の隠し湯下部温泉、糸魚川－静岡構造線の大断層 など



図4 峡南地域の資源

（出典：各自治体 HP、商工会 HP、道の駅 HP）

(5) 情報発信媒体の検討

観光資源の洗い出しや磨き上げと併せて、各資源に適した情報媒体を選定していく必要がある。例えば旅行計画中の来訪前の人にはテレビやホームページで、移動中に行き先を考えている人にはSNSで、というように、「いつ」「どこで」「どんな人に」情報を取得してもらうかで適切な発信媒体は変わってくる。協議会では各町が運営しているホームページやSNSなどの既存の媒体を活用しつつ、新たな媒体の創設も視野に入れ情報発信のあり方（情報のネットワーク化）について検討を進めていく。

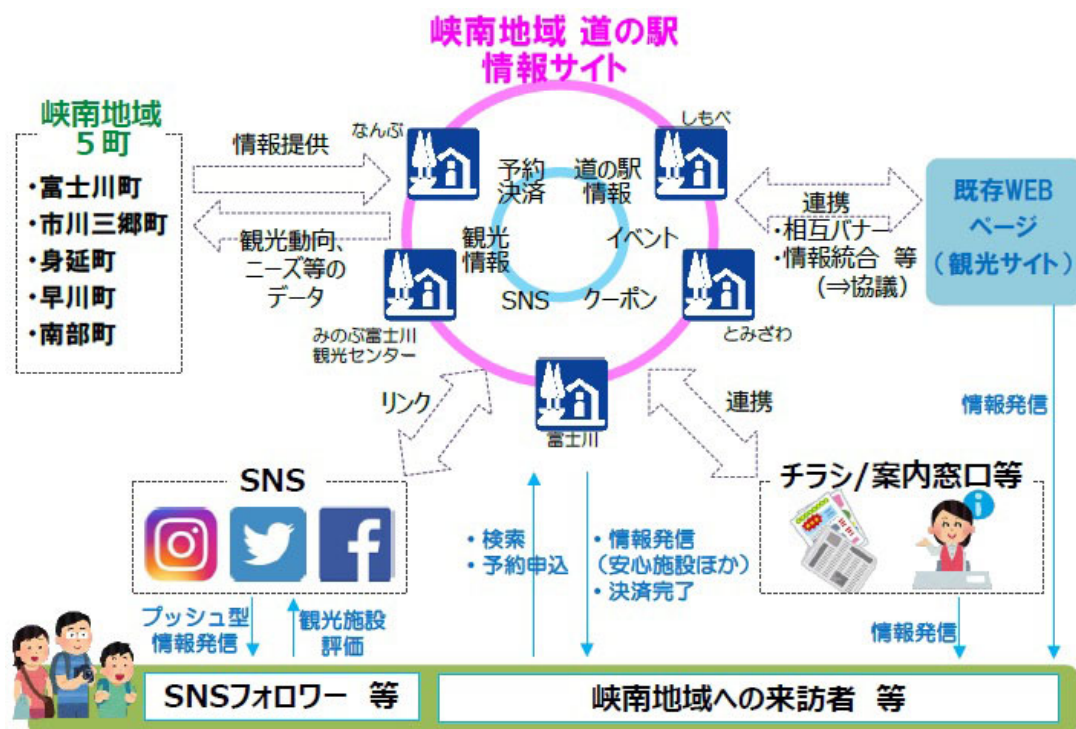


図5 情報のネットワーク化概念図

(6) 二次交通機能の強化に向けて

情報のネットワーク化で誘客を図る一方、来訪者が地域を訪れた際には、ツーリングや宿泊などの周遊目的や移動距離に応じた交通手段の提供が求められる。峡南地域においては、道の駅富士川で既にレンタサイクル施設が整備されている現状もあり、交通のネットワーク化では今後、JR 身延線と組み合わせるなど既存の機能を活用・拡充を図りながら二次交通の強化や、地域のテーマ毎に観光資源を巡る周遊ルート の提案など、周遊促進に向けた議論を行っていく予定である。



図6 道の駅富士川のレンタルサイクル

（出典：道の駅富士川HP）

3. 今後の取り組み

前述のとおり峡南地域道の駅ネットワーク協議会では、県や沿線自治体を中心となり、中部横断自動車道（静岡・山梨間）の全線開通を契機とした地域の更なる活性化に向けた取り組みをはじめたところである。

令和3年夏に予定されている全線開通を前に、この協議会において様々な取り組みが議論され、有意性や実効性のある施策が具体化されるよう、関係機関と協力して進めていく予定である。また、ETC2.0などのビッグデータを活用して開通前と開通後の周辺道路の交通動態分析を行うなど、更なる観光施策のベースとなるものを引き続き検討していきたい。

～峡南地域の道の駅紹介～



道の駅「富士川」(富士川町)

- ・営業時間：9：00～18：00
- ・定休日：なし
- ・PR：富士川地域の観光情報や特産品などが一同に集結
- ・供用日：平成26年7月8日
- ・TEL：0556-48-8700



道の駅「しもべ」(身延町)

- ・営業時間：9：00～17：00
※5月～9月は9：00～18：00
- ・定休日：水曜日、12月～2月の木曜日、年末年始
- ・PR：身延産大豆を使用した下部味噌作り体験
- ・供用日：平成9年4月24日
- ・TEL：0556-20-4141



道の駅「みのぶ富士川観光センター」(身延町)

- ・営業時間：9：00～17：00
- ・定休日：水曜日、年末年始
- ・PR：手漉き和紙体験をはじめとした様々なクラフト体験
- ・供用日：平成26年7月17日
- ・TEL：0556-62-5600



道の駅「なんぶ」(南部町)

- ・営業時間：9：00～17：00
- ・定休日：なし
- ・PR：南部茶をはじめとした特産品やご当地グルメの販売
- ・供用日：平成30年7月21日
- ・TEL：0556-64-8552



道の駅「とみざわ」(南部町)

- ・営業時間：平日 8：30～18：00
休日 8：00～18：00
- ・定休日：年末年始・3月末
- ・PR：タケノコをはじめとした地元の特産品の販売
- ・供用日：昭和63年10月24日
- ・TEL：0556-66-2260